

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
総合演習4①							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
鍼灸学科・夜間部	3年	1期	稲垣 元		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	総合領域			座学	1	10	
科目概要							
鍼灸治療で用いる器材の取扱いについて学びます。また安全な刺鍼、施灸を行うための消毒法やクリーンニードルテクニックを学び、施術者・患者双方を医療事故から守るための知識を身につけます。そして鍼灸治療が人体に与える影響について、様々な研究論文の成果をふまえ学び、確実な治療効果の得られる刺鍼・施灸法を身につけます。							
目標							
<b>一般目標(GIO)</b> <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	鍼灸師に必要な知識を複合的に学習し、知識の定着と応用力を身に付けるために、2年次に学んだ専門基礎分野を中心とした複合課題に対し、教科を横断した学習を行う。						
	<b>到達目標(SBO)</b> <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	1.鍼の材質、取扱い、サイズ等について選択肢を提示されたら正解肢を選び出せる。 2.艾の材質、取扱い、質の良悪について選択肢を提示されたら正解肢を選び出せる。 3.消毒法や治療上のリスク管理について選択肢を提示されたら正解肢を選び出せる。 4.治効機序について生理学の見地から選択肢を提示されたら正解肢を選び出せる。 5.治効機序に関連する学説について選択肢を提示されたら正解肢を選び出せる。					
履修に必要な予備知識や技能							
解剖学・生理学と基礎はりきゅう学11および12で学んだ知識。							
教科書・参考書							
はりきゅう理論 第3版							
受講上の注意							
何のために学習するかを考え、予習復習を行ってください。予習はシラバスを参考に、復習は小テストで知識の抜け落ちている部分を確認し、補うようにしていきましょう。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	90	10					100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	はり道具について: サイズ・材質・JIS規格を学ぶ 管鍼法や古代九鍼など古典的な道具の使い方を学ぶ 小テスト			はりきゅう理論 P3-8	教科書・筆記用具		
第2回	灸道具について: 艾の材質を学ぶ。線香の材質を学ぶ 施灸の補法、火傷の防止を学ぶ 小テスト			はりきゅう理論 P21-28	教科書・筆記用具		
第3回	鍼の術式: 押手・前揉法・後揉法を学ぶ 特殊鍼法: 小児鍼の道具と手技を学ぶ 小テスト			はりきゅう理論 P9-20	教科書・筆記用具		
第4回	鍼灸臨床適応と禁忌について学ぶ 治療過誤のリスク管理について学ぶ 小テスト			はりきゅう理論 P29-34	教科書・筆記用具		
第5回	鍼灸治効の基礎として刺激の受容器と神経軸索を学ぶ ポリモーダル受容器と侵害刺激について整理する 小テスト			はりきゅう理論 P67-85	教科書・筆記用具		
第6回	感覚伝導路の概略を学ぶ 自律神経反射を利用した治療機序の基礎を学ぶ 小テスト			はりきゅう理論 P54-60	教科書・筆記用具		
第7回	鍼鎮痛の求心路と下行性痛覚抑制経路を学ぶ オピオイドペプチドの種類と受容体の性質を学ぶ 小テスト			はりきゅう理論 P61-70	教科書・筆記用具		
第8回	一般治効理論に関与する自律神経の基礎を学ぶ 炎症によるサイトカインの分泌機序とその作用について学ぶ			はりきゅう理論 P71-93	教科書・筆記用具		
第9回	改訂前の教科書にある関連学説の概要を学ぶ 改訂後の教科書に追加された泌尿器への効果を学ぶ トリガーポイントの概要について学ぶ			はりきゅう理論 P94-105	教科書・筆記用具		
第10回	定期テスト			はりきゅう理論 P1-109	筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
新宿区在の治療院で管理柔整師として非常勤勤務し、治療に従事しました。鍼灸師としても治療に従事し、鍼灸理論を生かした近代医学的鍼灸治療に携わった経験をもとに講義します。							
メールアドレス							
inagaki@nihonisen.ac.jp							